

みえメディカルバレー プロジェクトの成果

(平成14~22年度)

平成14年2月にみえメディカルバレー構想が策定され、同年4月から事業を開始し、その間、様々な事業を展開する中で、産学官民の連携が強固なものとなり、そこから多くの成果が生まれてきました。本ページでは、みえメディカルバレープロジェクトにより、生まれた連携や成果について概要を報告します。今後は、今まで築きあげてきたネットワークをさらに発展させ、医療・健康・福祉産業の活性化とともに、県民の健康と福祉の向上をめざすため、みえメディカルバレー構想第3期実施計画を実施していきます。

統合医療・予防医学を推進する体制づくり

統合医療や予防医学を推進する体制づくりを産学官民が連携して進めています。一般社団法人医食同源みえやその他関係者と協働で活動し、統合医療研究会や医食同源フォーラム等には、広く県民にも参加していただいています。また、統合医療の世界的権威であるアリゾナ大学のアンドルー・ワイル博士と交流し、連携を図っています。

平成22年度には、三重大学医学部附属病院に「統合医療・鍼灸外来」が開設され、鈴鹿医療科学大学の教授や卒業生が治療にあたっています。

成果(一部)

- 統合医療研究会の開催 (平成19年~)
- 医食同源フォーラムの開催 (平成21年~)
- 三重大学医学部附属病院で統合医療・鍼灸外来開始 (平成22年~)
- 一般社団法人医食同源みえの設立 (平成22年)



統合医療・鍼灸外来の様子

知的拠点の整備・活性化

研究開発を促進するため、市町、支援機関等と協働で知的拠点の整備や活性化の支援を行いました。これにより医療・健康・福祉分野の高度な人材確保・育成、産学共同研究やイノベーションを生み出す基盤が整備されました。

成果(一部)

- 四日市看護医療大学の開学 (平成19年4月)
- 三重大学と鈴鹿医療科学大学の包括的連携に関する協定の締結 (平成19年6月)
- 鈴鹿医療科学大学薬学部を設置 (平成20年4月)
- 三重大学伊賀研究拠点の設置 (平成21年4月)



三重大学伊賀研究拠点

みえメディカル研究会

県内大学等の研究者を中心に医療・健康・福祉産業分野での産学官民参加型の研究会を開催しています。当初は7研究会でスタートしましたが、平成22年度は12研究会が活動し、会員数は700名を超えるまでになりました。本研究会により研究開発ネットワークの構築が進み、多くの共同研究が生まれています。また、広く人材育成の場としても活用されています。

これまでの実績

NEDO産業技術研究助成事業獲得
JSTシーズ発掘試験の採択 他



みえメディカル研究会総会の様子

みえ治験医療ネットワークの構築

三重大学医学部附属病院と県内中核病院やクリニックでみえ治験医療ネットワークを構築しました。参加医療機関は120を超え、全国でも成功例として高く評価されています。また、中核病院における県民への治験の啓発活動は、16ヶ所、1800人を超え、治験の情報提供にも積極的に努めています。

成果(一部)

- NPO法人みえ治験医療ネット設立 (平成15年)
- みえ治験医療ネットワーク参加医療機関 123医療機関
- 平成15~22年度の8年間の治験案件受入数の累計 163件



治験啓発キャンペーンの様子



国内外クラスターとの連携の構築

産学官民連携を促進し、企業間や大学間などの技術提携や企業誘致などを活性化させるため、国内外のバイオ関連産業クラスターと連携関係を構築しています。

国外	平成15年より北欧(バイオコンパレー他)にミッション団を派遣 ● ドイツ・バイオコンパレーとの協力協定締結 (平成16年) ● 三重大学医学部・ロストック大学医学部間研究協力協定締結 (平成16年) ● (株)三重TLOとスウェーデンのLund TLOとの業務提携覚書締結 (平成17年)
国内	平成17年より中国にミッション団を派遣 ● 三重大学と瀋陽薬科大学と大学間協力協定締結 (平成22年) ● 第7回全国バイオクラスター交流会を津市にて開催 (平成23年2月3~4日) ● 地域治験ネットワーク連携会議を主催 (平成22年6月) ● NPOバイオものづくり中部との連携協力体制構築 ● 関西バイオ推進会議、医工連携クラスター全国会議等への参加

参考

全国バイオクラスターランキング 平成16年...5位、平成17年...6位、平成18年...4位

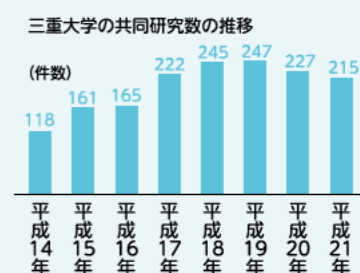
共同研究による製品・サービス創出の支援

医療・健康・福祉分野の製品化や研究開発の支援を行いました。これにより、様々な製品やサービスが生まれています。また、三重大学の共同研究数も当プロジェクト開始時より大幅に増加しています。



成果(一部)

- 企業・大学・行政機関の共同研究による製品化・特許出願数の累計 85件



企業誘致の支援

医療・健康・福祉分野の企業の進出や参入支援を行いました。

- 医薬関連の企業立地や異業種からの医薬分野への進出 (平成14~22年度) 累計 60件
- バイオベンチャー創出 32企業
- 製品の販路開拓成功事業者 97事業者

天然資源を活用した地域産業の創出支援

三重県内に豊富に存在する天然資源を活用し、新製品の開発や新産業を創出し、地域の活性化を促進するために、平成15年度から平成19年度までの5年間にわたり全県域で天然資源活用調査を実施しました。当プロジェクト開始後からこれまでに、県内各地で天然資源を活用した製品やサービスの開発が進んでいます。



ウェルネスの旅の様子

成果(一部)

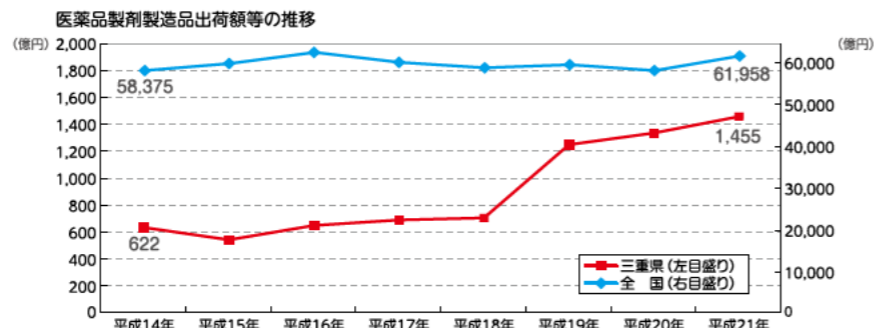
- 三重県天然資源活用調査報告書
- 「熊野古道薬草弁当」の開発 (紀北調理師会)
- 「地元天然資源を活用した医食同源料理~伊勢食道」の開発 (伊勢調理師協会)
- 尾鷲市が進める海洋深層水を活用した商品開発
- 医食同源弁当の開発
- グルメディカルツアーの開催
- ウェルネスの旅(健康ツーリズム)の開発

この他にも、メディカルバレーフォーラムやみえテクノエイドセンターによる福祉用具フォーラムの開催、三重県薬事工業会と連携したインターンシップの実施などさまざまな取組による成果も生まれています。

医薬品製剤製造品出荷額等の推移

(経済産業省工業統計調査)

平成21年の医薬品製剤製造品出荷額等が1,000億円を超えているのは16府県ですが、平成14年からの伸び率は、三重県が2.3倍と全国トップとなっています。



三重県薬事工業の動き

みえメディカルバレープロジェクトでは、企業立地室、東京事務所、大阪事務所と協働して薬事関連企業の誘致活動を行ってきました。その結果、第1期・第2期で、企業立地・第2創業の累計件数は60件となっています。また、バイオベンチャーの創出にも努めた結果、第1期・第2期で、32社のバイオベンチャーが誕生しました。

今年の主な薬事工業の動きは次の通りです。

藤森工業株式会社 三重事業所 増設 / 太陽化学株式会社 塩浜工場内に乳化剤工場新設 / ニプロファーマ株式会社 伊勢工場 増設 / 株式会社メディテックジャパン三重工場増設



薬事工業の集積地 ゆめぼり伊賀クリエイトランド